

カツオ

生態的特徴等



【生態】

太平洋に広く分布しており、日本近海では春に上りカツオとして房総沖～三陸沖を北上索餌回遊し、秋には戻りカツオとして南下回遊する。春に北上する群は3歳、3 kg 程度までのカツオで、これより大きなものは亜熱帯～熱帯海域で産卵回遊する。成長は早く、1歳で尾叉長約45 cm、2歳で約60 cmになる（図1）。寿命は12歳以上、最大120 cmの報告もあるが、概ね8歳、80 cmくらいまでが漁獲されている。動物プランクトン、魚類、甲殻類、頭足類を餌とする。

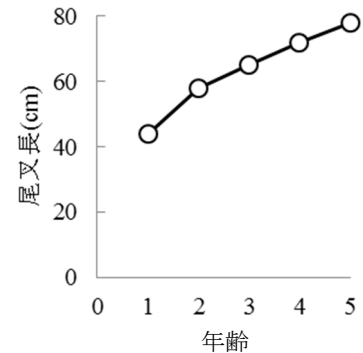


図1 カツオの成長

【漁法と盛期】

主に、近海竿釣やまき網により漁獲される。

常磐南部・鹿島灘海域では、初夏に北上する群、秋に南下する群の漁場が形成され、本県小型船の曳釣や、他県船の近海竿釣により漁獲される。

【利用】

EPA やビタミン D、鉄分を多く含む。刺身やタタキとして生食されるほか、缶詰やかつお節などの原料としても利用される。県庁所在地の1世帯当たりの消費量が全国3位（H7年）と多いことから、県の旬の魚（夏）に選定されている。

資源は高水準だが、減少傾向

（漁獲量）近海竿釣による漁獲量は、H1～17年までは3～6万トン前後で推移していたが、H18年以降は減少傾向にある（図2）。R5年の漁獲量は23,082トンとなったが、R6年は前年より増加し、28,709トンとなった。

県内漁獲量についても減少傾向にあり、近年の漁獲量は非常に少ない（図3）。

（水準と動向）国の資源評価（R4年度）によると、資源水準は「高位」、動向は「減少」であった。

水 準



（国）

動 向



（国）

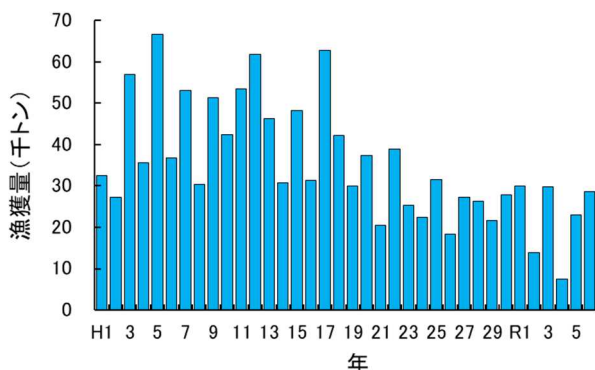


図2 東北主要港のカツオ漁獲量
千葉県から青森県沖で操業する近海竿釣の漁獲量

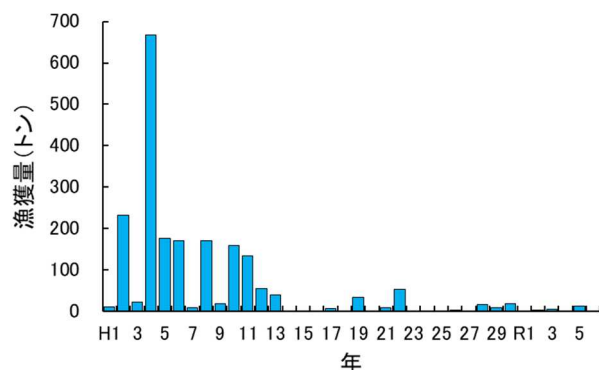


図2 茨城県のカツオ漁獲量
水試システム、まき網・近海竿釣りを除く全漁法、属地

【全国の漁獲動向】

- ・静岡県が漁獲量第1位。2位は東京都、3位は宮崎県（R5農統）。

評価期間：令和4年1月～12月 更新日：令和7年3月25日